

# 東京女子医科大学学会

## 2021年評議員会および第87回総会報告

2021年9月1日（水）の評議員会の結果に基づき、総会を9月6日（月）～9月24日（金）を  
 書面表決期間とする書面開催とし、すべての議事について承認された。

### 【議題1】庶務報告

2020年1～12月の庶務報告として以下のとおり報告する。

1. 会員（2021年3月末時点）：  
 正会員は707名（学内619名／学外88名）で、昨年報告した838名より131名減少している。
2. 和文誌『東京女子医科大学雑誌』（2020年1～12月）：  
 電子版は90巻1～6号の計6回、冊子体は90巻1～6号と英文誌を1冊にまとめた合本号の1回、それぞれ発行した。
3. 英文誌『Tokyo Women's Medical University Journal』（2020年1～12月）：  
 Volume 4は16篇を掲載した。
4. 集会（2020年1～12月）：  
第361回例会（2020年2月23日）：研究奨励賞受賞者研究発表のほか、一般演題1題、研修医症例報告17題が応募されていたが、新型コロナウイルス感染症により中止とした。  
第362回例会（2020年5月22日）：「弥生先生を語る」は1973（昭和48）年本学卒業生で本学理事長の岩本絹子先生より、記念講演は社会学者で認定NPO法人WAN理事長の上野千鶴子先生より「女性医師が増えて何が悪いか?!」と題してお話しいただく予定だったが、新型コロナウイルス感染症により中止とした。  
第86回総会（2020年9月26日開催）：コロナ禍により、総会は書面開催として、シンポジウムは初めてのWEB学会として行った。テーマは「ロボット手術の最前線」で6名よりお話しいただいた。
5. 記念楯（2020年1～12月）：  
 学会等中止の影響を受け、学会主催0個、共催0個、その他（退任幹事）5個の利用だった。
6. 内規第4条の改訂〔資料A〕：  
 吉岡弥生記念講演会、吉岡弥生研究奨励賞、弥生先生を語る、に使用している彌生先生のお名前の表記を旧字に変更する。また「弥生先生を語る」について、直接薫陶を受けられた先生方にお話しいただいたが、最後の学年が昭和24年卒で推定年齢95～100歳であることから、お越しいただきご登壇いただくことは現実的には難しいだろうとして、今後も継続して行っていくため「弥生先生を語る」を「彌生先生の精神を語る」に変更し、その精神を引き継いでいる先生にお話しいただきたい。
7. 新評議員：  
 2020年9月～2021年8月に准教授以上に就任した推薦対象22名のうち、承諾された21名を新たに評議員とする。

#### 医学部

堀 圭二郎 准教授（形成外科学）  
 大木 岳志 准教授（下部消化管外科学分野）  
 水谷 潤 准教授（八千代医療センター整形外科）＊  
 市場 晋吾 教授（臨床工学部）＊  
 本田 五郎 准教授（肝胆膵外科学分野）＊  
 久保田有一 准教授（東医療センター脳神経外科）  
 稲井 慶 准教授（循環器小児科）  
 橋本弥一郎 准教授（放射医学（放射線腫瘍学分野））  
 青鹿 佳和 准教授（東医療センター総合診療科）  
 山口 茂樹 教授（下部消化管外科学分野）＊  
 西井 明子 准教授（予防医学科）  
 町田 治彦 教授（東医療センター放射線科）＊  
 新井 誠人 教授（八千代医療センター消化器内科）＊  
 山上 淳 准教授（皮膚科学）＊  
 田中 正巳 准教授（東医療センター内科）＊  
 増井 憲太 准教授（病理学（病態神経科学分野））  
 安川 久美 准教授（八千代医療センター小児集中治療科）

大月 道夫 教授 (内分泌内科学) \*  
 井坂 珠子 准教授 (呼吸器外科学分野)  
 出口 敦子 准教授 (薬理学)  
 看護学部  
 町田 貴絵 准教授 (成人看護学) \* [就任順 \* 新任]

### 【議題2】会計報告：2020年度決算および監査報告

2020年度収支決算として以下のとおり報告する。

#### 2020年度収支決算：収入

会費収入 127,500 円増は、辞められた先生も多かったが、新たに着任された先生にご入会いただいたことによる。雑誌刊行 145,962 円減は、COVID-19 特集等依頼原稿が多く著者負担が少なくなったこと、オンラインジャーナルになったことから広告収入や雑誌売却収入がなかったことによる。結果として、38,597 円の収入減となった。

#### 2020年度収支決算：支出

集会費は、中止やオンライン開催により講演料・交通費・設営準備費等が減少したことから 351,061 円の大幅な減となった。出版費は 618,498 円減だったが、論文数が増え活動が活発になると支出は増えるため、活動の活発化を図りながら、その結果生じる支出増を補うための方策として広告料や科研費等への取り組みを編集担当幹事会で検討している。経常費は、図書館との複合機共同利用により OA 費が減少した。結果、1,007,853 円の支出減であった。

#### 2020年度収支決算：結果

前期繰越金 38,296,576 円を加えた収入合計 43,421,403 円に対し支出合計 4,929,147 円で、結果 38,492,256 円の繰越金を計上した。

以上の結果について、石黒直子・降矢芳子両監事の監査を受け、適正かつ公正であると認められている。

### 【議題3】会計報告：2021年度予算

2021年度収支予算案として以下のとおり報告する。

#### 2021年度収支予算：収入

1. 会費収入予算額 3,900,000 円。現在の会員数の状況より前年度差 300,000 円減とした。
2. 雑誌刊行収入予算額 896,000 円。科研費等を検討しつつ、前年度とほぼ据え置きとした。
3. 盾売却収入予算額 20,000 円。前年度差なしとした。
4. 雑収入予算額 744 円とした。

#### 2021年度収支予算：支出

1. 集会費予算額 900,000 円。オンライン開催により設営準備費の削減は見込まれるが、彌生記念講演会やシンポジウムの講演料を踏まえ、前年度差 418,000 円増とした。
2. 出版費予算額 5,257,000 円。PMC 申請を目指し、英文論文の依頼原稿の働きかけや環境整備を見込み、英文校正料等も含め、前年度差 512,000 円増とした。
3. 経常費予算額 510,000 円。複合機の図書館との共同利用により、OA 関連費とコピー費の大幅な削減が実現したことから、前年度差 200,000 円減とした。

#### 2021年度収支予算：結果

前期繰越金 38,492,256 円を加えた収入合計 43,309,000 円に対し支出合計 6,667,000 円で、36,642,000 円の繰越金を計上する見込みである。

## 2020年度収支決算書（2020年4月～2021年3月）


| 収入の部      |            | <単位:円>     |             |  |
|-----------|------------|------------|-------------|--|
| 科 目       | 2020年度予算額  | 2020年度決算額  | 差額          |  |
| 前期繰越      | 38,296,576 | 38,296,576 | 0           |  |
| 1. 会費収入   | 4,200,000  | 4,327,500  | 127,500     |  |
| 2. 雑誌刊行収入 | 943,000    | 797,038    | △ 145,962   |  |
| 3. 盾売却収入  | 20,000     | 0          | △ 20,000    |  |
| 4. 雑収入    | 424        | 289        | △ 135       |  |
| 収入合計      | 43,460,000 | 43,421,403 | △ 38,597    |  |
| 支出の部      |            |            |             |  |
| 科 目       | 2020年度予算額  | 2020年度決算額  | 差額          |  |
| 1. 集会費    | 482,000    | 130,939    | △ 351,061   |  |
| 2. 出版費    | 4,745,000  | 4,126,502  | △ 618,498   |  |
| 3. 経常費    | 710,000    | 671,706    | △ 38,294    |  |
| 支出合計      | 5,937,000  | 4,929,147  | △ 1,007,853 |  |
| 次期繰越      | 37,523,000 | 38,492,256 | 969,256     |  |


## 2021年度収支予算書（2021年4月～2022年3月）

| 収入の部      |            | <単位:円>     |           |  |
|-----------|------------|------------|-----------|--|
| 科 目       | 2021年度予算額  | 2020年度予算額  | 増減        |  |
| 前期繰越      | 38,492,256 | 38,296,576 | 195,680   |  |
| 1. 会費収入   | 3,900,000  | 4,200,000  | △ 300,000 |  |
| 2. 雑誌刊行収入 | 896,000    | 943,000    | △ 47,000  |  |
| 3. 盾売却収入  | 20,000     | 20,000     | 0         |  |
| 4. 雑収入    | 744        | 424        | 320       |  |
| 収入合計      | 43,309,000 | 43,460,000 | △ 151,000 |  |
| 支出の部      |            |            |           |  |
| 科 目       | 2021年度予算額  | 2020年度予算額  | 増減        |  |
| 1. 集会費    | 900,000    | 482,000    | 418,000   |  |
| 2. 出版費    | 5,257,000  | 4,745,000  | 512,000   |  |
| 3. 経常費    | 510,000    | 710,000    | △ 200,000 |  |
| 支出合計      | 6,667,000  | 5,937,000  | 730,000   |  |
| 次期繰越      | 36,642,000 | 37,523,000 | △ 881,000 |  |

## 会計監査報告書

東京女子医科大学学会 2020 年度収支決算書につき、会計帳簿  
および関係書類に基づき監査した結果、その内容は適正かつ公  
正妥当なものであることを認めます。

2021年 7月 6日  
監事 石黒 直子 

2021年 7月 20日  
監事 降矢 芳子 

### 【その他】集会担当幹事会からの報告

- 第 87 回総会〔2021 年 9 月 25 日（土）13:10～15:00〕  
前回同様、新型コロナウイルス感染拡大に鑑み、多くの方が一堂に介する会合を避け、総会は書面開  
催、シンポジウムは Zoom ウェビナーと YouTube Live によるオンライン開催。公開シンポジウム「私た  
ちは COVID-19 パンデミックをどのように乗り越えてきたのか？」として 5 名よりお話しいただく。本  
シンポジウムへの参加申込は本日 9 月 1 日～15 日、Google フォームよりお申込みいただき、参加 URL  
が送られる。
- 第 365 回例会〔2021 年 2 月 26 日（土）午後〕  
10 月 31 日（日）を期日に、一般演題と研修症例報告会への演題を募集中。社会情勢を考慮し、開催  
方法を決定する。事情ご理解の上、奮ってご応募ください。
- 第 38 回吉岡弥生記念講演会〔2022 年 5 月 23 日（月）午後〕  
彌生先生のご命日 22 日が日曜日のため翌月曜日 23 日の開催とする。講師は検討中。

### 【その他】編集担当幹事会からの報告

- 和文誌：第 92 巻掲載シリーズ「各領域における分子標的薬の役割」  
例年、和文誌に掲載しているシリーズは、「分子標的薬」をテーマに 6 名によりご執筆いただく。

|      | ご執筆者      | ご所属        | 領域   |
|------|-----------|------------|------|
| 総論   | 倉持 英和 准教授 | 化学療法・緩和ケア科 | 総論   |
| 臨床 1 | 志関 雅幸 准教授 | 血液内科       | 血液内科 |
| 臨床 2 | 野口英一郎 准講師 | 乳腺・内分泌外科   | 乳腺外科 |
| 臨床 3 | 吉田 一彦 講師  | 泌尿器科       | 泌尿器科 |
| 臨床 4 | 田原 純子 准講師 | 消化器内科      | 消化器  |
| 臨床 5 | 田中 榮一 准教授 | 膠原病リウマチ内科  | リウマチ |

- 英文誌：PMC 申請に向けた取り組み  
〔資料 B〕に示したとおり Instructions to Authors を改訂している。投稿資格について、東京女子医科  
大学学会の会員であることとしていたが、より国際的に認められるようにその条件を廃止し、  
Submission Fee として 10,000 円を設定することに変更した。また文献表記、Aim and Scope、  
Reporting Guidelines、Data Sharing など、すべての項目で International に通用するような形での改  
訂を行っている。この改訂をもって本年度中に PMC を受験することを計画している。

**【会員からの質問と回答】**

Q1. 正会員が 131 名も減っているのは何故ですか。

A1. 弊会は、正会員の 9 割弱が東京女子医科大学の在籍者です。そのため弊社退会者数は、大学教職員の退職者数に影響を受ける傾向にあります。今回の退会正会員 131 名も、大学退職による退会希望者と大学退職による連絡先不明者が主で、大学を退職した会員が多かったためと考えています。

Q2. 新評議員について：本学卒業生が非常に少ないのは何故でしょうか？

A2. 弊会会則第 12 条により「評議員は本学に常勤する准教授以上の本会正会員」と規定されています。今回、評議員推薦基準「本学に常勤する准教授以上」を満たす会員に卒業生が少なかったことによります。

Q3. 英文誌の投稿費は、会員も含まれるのか？ 会員外の投稿者についてでしょうか。

A3. 会員も含まれます。International な基準に準拠することを目的とした改訂で、会員／非会員を問わず、投稿 1 篇に対して投稿料 10,000 円／100 USD といたしました。

Q4. 報告書だけではいまひとつぴんとこない。実際のところの問題点が知りたいです。

A4. 正会員数の減少、出版活動による収入増加への取り組み、PMC 掲載に向けた投稿者の多様化、が課題です。